

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
①文武両道に基づく、自主自律の精神を育み、将来の国家社会の担い手として、たくましく生きる人材の育成を目指す。	①食育や健康教育等を通して、生徒の生活習慣の確立を一層図ること。 学校生活全体を通して、生徒の自主自律の精神を一層培うこと。	① 基本的な生活習慣を確立させ 、健康な心と身体を育む教育を進める。規律を守る学校生活、自主活動、社会的視野を広める取り組みを通して、次代の社会を担う人を育てる。
②生徒が自ら進路を切り拓くため、大学との連携を視野に入れた、確かな学力を保證する質の高い授業を展開する。	②生徒の授業を大切に する態度や家庭学習の習慣を養い 、学習意欲を高めること。 進路実現を図る指導体制を充実すること。	② 日々の授業を大切に して生徒が学習意欲を高め、自信を抱き、確かな学力をそなえ、自らの進路実現につなげるよう、導く。
③人権と学ぶ権利が尊重される、共に学び合い、ロマンあふれる文化の花開く学校づくりを目指す。	③聴覚障害教育、特別支援の必要な生徒など、多様な生徒に対する指導内容、方法についてさらに研鑽し、指導体制を充実すること。	③ 多様な生徒について理解を深め 、その指導について研鑽する。聴覚障害教育、特別支援教育にかかる従前の成果と課題をふまえ、指導体制について充実・強化を図る。
④教職員が一致団結し、常にプロ意識を持って教育活動に専念できる働きがいのある学校づくりに努める。	④学習指導、生徒指導について、相互に研鑽向上を図り、全教職員の連携、一致した指導を進めること。	④ 校内での情報共有を図り 、互いに連携、協力しあう環境を整える。内外による学校評価に基づき教育活動の点検および改善を行う。研鑽して専門性を高め、信頼される学校づくりを目指す。
⑤京都の伝統校として、卒業生や地域に信頼され、その期待に応える、品格のある学校づくりを一層進める。	⑤PTAや同窓会等の連携・協力を図りながら、伝統や地域との関係を大切にし、開かれた学校づくりを進めること。	⑤ 学校の活動を発信し 、地域の理解を得られるように努める。PTA同窓会等の支援・連携のもと、多様で特色ある本校の教育活動を進める。
⑥新設の文理総合科においては、英語力を初めとする豊かなコミュニケーション能力を育てるなど、新しい教育理念の実現を図る。	⑥文理総合科にあつては、三年を経た昨年度総括をふまえて、向後の充実・発展期としての取り組みをめざすこと。	⑥ 文理総合科にあつては 学科の理念を具現化する多様な取り組みを一層充実させるとともに、学校全体への波及、活性につなげる。

